




類似薬選定のための薬剤分類 (改訂第3版案)

平成18年6月21日

類似薬選定のための薬剤分類に関する委員会
類似薬選定のための薬剤分類に関する作業委員会（分類班/臨床班）

-  ・新規に薬剤分類表に追加するもの
-  ・薬価削除により分類表から削除するもの
-  ・既収載品の効能・剤形等の追加

薬効群	成分名	頁
112 催眠鎮静剤	塩酸デクスメドミジン	P 8
— 片頭痛用剤	安息香酸リザトリプタン	P 16
	スマトリプタン	P 16
116 抗パーキンソン剤	塩酸プラミペキソール水和物	P 18
131 眼科用剤	ベルテポルフィン	P 30
	ガチフロキサシン水和物	P 30
214 血圧降下剤	オルメサルタンメドキシミル	P 43
218 高脂血症用剤	ピタバスタチンカルシウム	P 49
	ロスバスタチンカルシウム	P 49
225 気管支拡張剤	臭化チオトロピウム水和物	P 59
238 鎮吐剤	塩酸インジセトロン	P 76
241～249 ホルモン剤・抗ホルモン剤	酢酸オクトレオチド	P 83
	酢酸デスマプレシン	P 88
255 痔疾用剤	硫酸アルミニウムカリウム、タンニン酸	P 92
264 鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	タクロリムス水和物	P 100
342 腹膜透析用剤	イコデキストリン配合剤	P 128
392 解毒剤	ホリナートカルシウム	P 131
395 酵素製剤	アガルシダーゼ ベータ	P 136
396 糖尿病用剤	ミチグリニドカルシウム水和物	P 137
	インスリン グラルギン（遺伝子組換え）	P 139
398 骨代謝疾患用剤（カルシウム剤を除く）	塩酸ラロキシフェン	P 142
	ゾレドロン酸水和物	P 143

421~429 腫瘍用薬	カペシタビン	P147
	オキサリプラチン	P149
	シスプラチン（肝動注製剤）	P149
	三酸化ヒ素	P149
	タラポルフィリンナトリウム	P150
430 放射性医薬品	イオマゼニル(123I)	P151
— アレルギー用薬	塩酸エピナスチン	P156
611 主として一般細菌に作用するもの	テリスロマイシン	P160
617 主として真菌に作用するもの	ホスフルコナゾール	P164
625 ウイルスに作用するもの	バルガンシクロビル塩酸塩	P165
	アデホビル ピボキシル	P165
	フマル酸テノホビル ジソプロキシル	P165
	エムトリシタビン	P165
	ラミブジン・硫酸アバカビル	P165
	フマル酸テノホビル ジソプロキシル・エムトリシタビン	P165
	ホスアンプレナビルカルシウム水和物	P165
	硫酸アタザナビル	P165
638 インターフェロン類	ペグインターフェロン アルファ-2a（遺伝子組換え）	P170
	ペグインターフェロン アルファ-2b（遺伝子組換え）	P170
722 機能検査診断薬	塩酸プラルモレリン	P175
811 あへんアルカロイド系麻薬	塩酸オキシコドン	P178
— リウマチ治療剤	レフルノミド	P182
	エタネルセプト	P182

分類表の見方

1. 内注外区分 1 : 内用薬 2 : 注射薬 3 : 外用薬
2. 分類名 原則として、従来の薬効分類名をもとにした。
3. 主な適応症 薬事法上の承認に基づく「効能・効果」をもとに簡潔に記載。
但し、「効能・効果」が多岐にわたる場合は、同一「効能・効果」をもつ薬剤が比較的多い「効能・効果」をまとめて、当該「効能・効果」を「主な適応症」として代表させた。
4. 薬理作用 1、2、3 添付文書の「薬効薬理」欄の記述をもとに、主な薬理作用を挙げた。同一の薬理作用をもつ薬剤を同一枠内に記載。
5. 組成・構造 添付文書等から特徴的な構造群が用いられていれば記載。配合剤にかんしては、「配合剤」と記載。
6. 成分、薬効分類番号 添付文書による。
7. 剤形区分、剤形 薬価算定上の剤形分類による。
8. 用法 特に必要な場合、投与回数等を参考として記載。
9. 備考 他の特徴的な効能・効果、「局方」、投与制限など特筆すべき事項を記載。
10. 線引き 以上1～9の項目を勘案して、範疇が異なる領域を線により区分。これが投与経路が同じで薬理作用が類似している薬理作用類似薬の範囲を示すこととなる。
11. その他 (例) 有効成分A、B、Cの配合剤があり、Aの薬理作用が○と△、Bの薬理作用が□、Cの薬理作用が○と▲という場合の「成分」欄、「薬理作用」欄の記載方法
「成分」欄 → A / B / C
「薬理作用」欄 → ○ / △ + □ + ○ / ▲

111 全身麻酔剤

内注外区分	分類名	主な適応症	薬理作用1	薬理作用2	薬理作用3	組成・構造	成分名	薬効分類番号	剤形区分	剤形	用法	備考	線引き
2	全身麻酔剤	全身麻酔の導入	麻酔作用	下行性抑制系活動の増強作用			塩酸ケタミン	111	注-1	注射薬			
				脳幹の網様体賦活系の抑制作用			チアミラールナトリウム	111	注-1	注射薬			
							チオベンタールナトリウム	111	注-1	注射薬			
							ベントバルピタール塩	111 112	注-1	注射薬		★不安緊張状態の鎮静、不眠症、けいれん状態の抑制	
		全身麻酔の導入および維持	麻酔作用				プロポフォール	111	注-1	注射薬			
	麻酔の補助	鎮痛作用	神経遮断作用			ドロペリドール	111	注-1	注射薬		★フェンタニルとの併用		
3	全身麻酔剤	全身麻酔	麻酔作用	上行性網様体賦活系抑制作用		ハロゲン化エーテル系	イソフルラン	111	外-2	吸入剤			
							エンフルラン	111	外-2	吸入剤		局方	
							セボフルラン	111	外-2	吸入剤			
							麻酔用エーテル	111	外-2	吸入剤			
							ハロタン	111	外-2	吸入剤			
							亜酸化窒素	111	外-2	吸入剤			
							配合剤	亜酸化窒素/酸素	111	外-2	吸入剤		

112 抗不安剤

内注外区分	分類名	主な適応症	薬理作用1	薬理作用2	薬理作用3	組成・構造	成分	薬効分類	剤形区分	剤形	用法	備考	線引き						
1	抗不安剤	神経症、心身症における不安・緊張・抑うつ・(睡眠障害)	抗不安作用	ベンゾジアゼピン受容体刺激作用		ベンゾジアゼピン系	プラゼバム	112	内-2 内-1	細粒剤 錠剤		局方:錠							
							フルトプラゼバム	112	内-2 内-1	細粒剤 錠剤									
							ロフラゼブ酸エチル	112	内-2 内-1	細粒剤 錠剤									
							オキサゾラム	112	内-2 内-2 内-1	散剤 細粒剤 錠剤									
							クロキサゾラム	112	内-2 内-1	散剤 細粒剤									
							クロルジアゼポキシド	112	内-2 内-1	散剤 錠剤		局方							
							ジアゼバム	112,113	内-2 内-2 内-1 内-3	散剤 細粒剤 錠剤 シロップ剤									
							メキサゾラム	112	内-2 内-1	細粒剤 錠剤									
							メダゼバム	112	内-2 内-1	細粒剤 錠剤									
							プロマゼバム	112	内-2 内-1	細粒剤 錠剤									
							ロラゼバム	112	内-1	錠剤									
							エチゾラム	117	内-2 内-1	細粒剤 錠剤									
							クロチアゼバム	112,117	内-2 内-1	顆粒剤 錠剤									
							クロラゼブ酸ニカリウム	112	内-1	カプセル剤		★神経症のみ							
							フルタゾラム	112	内-2 内-1	細粒剤 錠剤		★心身症のみ							
							アルプラゾラム	112	内-1	錠剤		★心身症のみ							
							フルジアゼバム	112	内-2 内-1	細粒剤 錠剤		★心身症のみ							
										セロトニン受容体刺激作用			アザピロン系	クエン酸タンドスピロン	112	内-1	錠剤		
													ジフェニルメタン系	塩酸ヒドロキシジン	117	内-1	錠剤		★神経症のみ ★蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒
														パモ酸ヒドロキシジン	117	内-2 内-1 内-1 内-3 内-3	散剤 錠剤 カプセル剤 シロップ剤 ドライシロップ剤		★神経症のみ ★蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒
							パッシフロラエキス	112	内-1	錠剤									
							ガンマオリザノール	112,218, 290,399	内-2 内-1	細粒剤 錠剤		★心身症のみ ★高脂質血症							

		不安緊張状態の鎮静	鎮静作用	臭素イオンを遊離し、 大脳皮質の知覚並びに運動領域の興奮抑制作用			臭化カリウム	112	内-2	末剤		局方★小児の難治性てんかん
							臭化ナトリウム	112	内-2	末剤		局方★小児の難治性てんかん
2	抗不安剤	神経症における不安・緊張・抑うつ	抗不安作用	ベンゾジアゼピン受容体刺激作用		ベンゾジアゼピン系	ジアゼパム	112,113	注-1	注射薬		★てんかん様重積状態におけるけいれん
		麻酔前投薬、神経症における不安・緊張・抑うつ	抗不安作用			ジフェニルメタン系	塩酸ヒドロキシジン	117	注-1	注射薬		
3	抗不安剤	麻酔前投薬	抗不安作用	ベンゾジアゼピン受容体刺激作用		ベンゾジアゼピン系	プロマゼパム	112	外-6	坐剤		

112 催眠鎮静剤

内注 外区	分類名	主な適応症	薬理作用1	薬理作用2	薬理作用3 (作用持続時間)	組成・構造	成分	薬効分 類番号	剤形 区分	剤形	用法	備考	線引き	
1	催眠鎮静 剤	不眠症	睡眠作用	ベンゾジアゼピン受容体刺激作用	短時間作用型	ベンゾジアゼピン系	トリアゾラム	112	内-1	錠剤				
							塩酸リルマザホン	112	内-1	錠剤				
							ロルメタゼパム	112	内-1	錠剤				
						シクロピロロン系	ゾピクロン	112	内-1	錠剤				
						イミダゾピリジン系	酒石酸ゾルピデム	112	内-1	錠剤				
						チエントリアゾロジアゼ ピン系	プロチゾラム	112	内-1	錠剤				
					中間作用型	ベンゾジアゼピン系	エスタゾラム	112	内-2 内-1	散剤 錠剤				
							フルニトラゼパム	112	内-1	錠剤				
							ニトラゼパム	112,113	内-2 名-2 内-1 内-1	散剤 細粒剤 錠剤 カプセル剤		★てんかん発作		
							ニメタゼパム	112	内-1	錠剤				
				長時間作用型	ベンゾジアゼピン系	塩酸フルラゼパム	112	内-1	カプセル剤					
						クアゼパム	112	内-1	錠剤					
						フルラゼパム	112	内-1	カプセル剤		局方			
						ハロキサゾラム	112	内-2 内-1	細粒剤 錠剤					
				視床背内側核、脳幹網様体、大脳 辺縁系抑制作用	短時間作用型		セミコハク酸プトクタミド	112	内-1	カプセル剤				
				大脳皮質の知覚並びに運動領域興 奮抑制作用			ブロムワレリル尿素	112	内-2	末剤		局方		
				Cl透過性上昇作用	短時間作用型	バルピツール酸系	ペントバルピタールカルシウ ム	112	内-1	錠剤				
							中間作用型	アモバルピタール	112	内-2	末剤		局方	
							長時間作用型	バルピタール	112	内-2	末剤		局方	
								フェノバルピタール	112,113	内-2 内-2 内-1 内-3	末剤 散剤 錠剤 液剤		★てんかん発作	
中枢神経系(大脳皮質)抑制作用	短時間作用型		抱水クロラール	112	内-2	末剤		局方						

		脳波検査等における睡眠					トリクロホスナトリウム	112内-3 内-4	シロップ剤 シロップ剤		局方
2	催眠鎮静剤	鎮静	催眠鎮静作用	Cl ⁻ 透過性上昇作用	中間作用型	バルビツール酸系	ペントバルビタールナトリウム	111,112注-1	注射薬		
							アモバルビタール	112注-1	注射薬	局方	
							セコバルビタールナトリウム	112注-1	注射薬		
		長時間作用型	バルビツール酸系	フェノバルビタール	112,113注-1	注射薬	★てんかん発作				
大脳皮質の知覚並びに運動領域興奮抑制作用		臭化カルシウム	112注-1	注射薬	★小児のけいれん発作						
麻酔導入		ベンゾジアゼピン受容体刺激作用	短時間作用型	ベンゾジアゼピン系	ミダゾラム	112注-1	注射薬				
					中間作用型	ベンゾジアゼピン系	フルニトラゼパム	112注-1	注射薬		
		集中治療における鎮静	鎮静作用	中枢性 α_2 受容体刺激作用			塩酸デクスメトミジン	112注-1	注射薬		
3	催眠鎮静剤	催眠、不安・緊張状態の鎮静	催眠鎮静作用	透過性上昇作用	長時間作用型	バルビツール酸系	フェノバルビタールナトリウム	112,113外-6	坐剤		
				中枢神経系(大脳皮質)抑制作用	短時間作用型		抱水クロラール	112外-6	坐剤	★痙攣重積状態	

113 抗てんかん剤

内注 外区	分類名	主な適応症(国際抗てんかん発作分類)	薬理作用1	薬理作用2	薬理作用3	組成・構造	成分	薬効分類 番号	剤形区分	剤形	用法	備考	線引き	
1	抗てんかん剤	複雑部分発作, 単純部分発作, 全般発作 (特に欠神発作, ミオクローニー発作), 混合 発作	抗痙攣作用	GABA分解酵素活性阻 害作用		脂肪酸系	バルプロ酸ナトリウム	113	内-2 内-2 内-1 内-1 内-4	細粒剤 顆粒剤 錠剤 錠剤 シロップ剤				
		複雑部分発作, 単純部分発作, 全般発作	抗痙攣作用	電位依存性Naチャネル 遮断作用		ヒダントイン系	フェニトイン	113	内-2 内-2 内-1	末剤 細粒剤 錠剤		局方 局方 局方		
		全般発作(特に強直間代発作)					エトイン	113	内-2 内-1	末剤 錠剤				
		複雑部分発作, 全般発作(特に強直性間 代発作)					イミノステルベン系	カルバマゼピン	113,117	内-2 内-1	細粒剤 錠剤		★躁病, 躁う つ病の躁状 態, 精神分裂 病の興奮状 態, 三叉神 経痛	
		複雑部分発作, 単純部分発作, 全般発作	抗痙攣作用	Cl ⁻ 透過性上昇作用			バルピツール酸系	フェノバルピタール	112,113	内-2 内-2 内-1	末剤 散剤 錠剤		★不眠症	
								プリミドン	113	内-2 内-1	細粒剤 錠剤			
		複雑部分発作, 全般発作(特にミオクロー ニー発作)	抗痙攣作用	ベンゾジアゼピン受容体 刺激作用			ベンゾジアゼピン系	クロナゼパム	113	内-2 内-1	細粒剤 錠剤			
		単純部分発作, 全般発作						ニトラゼパム	112,113	内-2 内-2 内-1 内-1	散剤 細粒剤 錠剤 カプセル剤		★不眠症, 麻酔前投薬	
		他の薬剤と併用による複雑部分発作, 単 純部分発作, 全般発作						クロバザム	113	内-2 内-1	細粒剤 錠剤			
		全般発作(特に欠神発作)	抗痙攣作用	Caチャネル遮断作用			オキサソリジン系	トリメタジオン	113	内-2 内-1	散剤 錠剤		局方	
		複雑部分発作, 単純部分発作, 全般発作	抗痙攣作用				フェニル尿素系	アセチルフェネトライド	113	内-2 内-1	末剤 錠剤			
		複雑部分発作	抗痙攣作用				スルタム系	スルチアム	113	内-1	錠剤			
		全般発作(特に欠神発作)	抗痙攣作用				スクシミド系	エトスクシミド	113	内-2 内-1 内-4	散剤 カプセル剤 シロップ剤			
		複雑部分発作, 単純部分発作, 全般発作 (特に強直間代発作), 混合発作	抗痙攣作用				ベンズイソキサゾー ル系	ゾニサミド	113	内-2 内-1	散剤 錠剤			
皮膚性ミオクローヌスに対する抗てんかん 剤などの併用療法	抗ミオクローヌ ス作用					ピラセタム	119	内-3	液剤					

		複雑部分発作, 単純部分発作, 全般発作	抗痙攣作用+ 催眠鎮静作用	電位依存性Naチャンネル遮断作用		配合剤	フェニトイン/フェノバルビタール/安息香酸ナトリウムカフェイン	113	内-1	錠剤		
						配合剤	フェニトイン/フェノバルビタール	113	内-1	錠剤		
2	抗てんかん剤	複雑部分発作, 単純部分発作, 全般発作	抗痙攣作用	Cl ⁻ 透過性上昇作用		バルビツール酸系	フェノバルビタール	112,113	注-1	注射薬		★不安緊張状態の鎮静
		全般発作(てんかん発作重積症を含む)	抗痙攣作用	電位依存性Naチャンネル遮断作用		ヒダントイン系	フェニトインナトリウム	113	注-1	注射薬		
		全般発作(てんかん様重積発作の抑制を含む)	抗痙攣作用	ベンゾジアゼピン受容体刺激作用		ベンゾジアゼピン系	ジアゼパム	112,113	注-1	注射薬		★次の疾患及び状態における不安・興奮・抑うつ の軽減: 麻酔前, 麻酔導入時, 麻酔中, 術後, アルコール依存症の禁断(離脱)症状, 分娩時
3	抗てんかん剤	熱性けいれん及びびてんかんのけいれん発作の改善	抗痙攣作用	Cl ⁻ 透過性上昇作用		バルビツール酸系	フェノバルビタール	112,113	外-6	坐剤		★小児に対して、経口投与が困難な場合の催眠、不安・緊張状態の鎮静
				ベンゾジアゼピン受容体刺激作用		ベンゾジアゼピン系	ジアゼパム	112	外-6	坐剤		

114 解熱鎮痛消炎剤

内注外 区分	分類名	主な適応症	薬理作用1	薬理作用2	薬理作用3	組成・構造	成分	薬効分 類番号	剤形 区分	剤形	用法	備考	線引き	
1	解熱鎮痛消炎剤	疼痛性疾患、炎症性疾患、熱性疾患	鎮痛作用／抗炎症作用／(解熱作用)	プロスタグランジン生成阻害作用		アリール酢酸系	アセメタシン	114	内-1 内-1	錠剤 カプセル剤				
							インドメタシン	114	内-1	カプセル剤		局方		
							ジクロフェナクナトリウム	114	内-2 内-1 内-1	顆粒剤 錠剤 カプセル剤				
							フェルクロフェナク	114	内-1	錠剤				
							トルメチンナトリウム	114	内-1	錠剤				
							アンフェナクナトリウム	114	内-1	カプセル剤				
							フェンブフェン	114	内-1	錠剤				
							モフェソラク	114	内-1	錠剤				
							インドメタシンファルネシル	114	内-1	カプセル剤				
							スリンダク	114	内-1	錠剤				
							ナブメトン	114	内-1	錠剤				
							マレイン酸プログルメタシン	114	内-1	錠剤				
							アントラニル酸系	フルフェナム酸アルミニウム	114	内-1	錠剤			
						メフェナム酸		114	内-2 内-2 内-1 内-1	散剤 細粒剤 錠剤 カプセル剤				
						トルフェナム酸		114	内-1	カプセル剤				
						フロクダフェニン		114	内-1	錠剤				
						グルフェナム酸		114	内-1	カプセル剤				
						ピラゾリン系	ケトフェニルプロフェン	114	内-1	錠剤				
							プロピオン酸系	ケトプロフェン	114	内-1	カプセル剤			
						チアプロフェン酸		114	内-1	錠剤				
フェノプロフェンカルシウム	114	内-1	錠剤											
ロキソプロフェンナトリウム	114	内-2 内-1	細粒剤 錠剤											

			イブプロフェン	114 内-2 内-2 内-1	細粒剤 顆粒剤 錠剤		
			ブラノプロフェン	114 内-1	錠剤		
			アルミノプロフェン	114 内-1	錠剤		
			オキサプロジン	114 内-1	錠剤		
			ザルトプロフェン	114 内-1	錠剤		
			ナプロキセン	114 内-1	錠剤 カプセル剤		
			フルルビプロフェン	114 内-2 内-1	顆粒剤 錠剤		
		オキシカム系	アンピロキシカム	114 内-1	カプセル剤		
			テノキシカム	114 内-1	錠剤		
			ピロキシカム	114 内-1 内-1	錠剤 カプセル剤		
			メロキシカム	114 内-1	カプセル剤		
			ロルノキシカム	114 内-1	錠剤		
		ピラノ酢酸系	エトドラク	114 内-1	錠剤		
		サリチル酸系	ジフルニサル	114 内-1	錠剤		
			アスピリン	114 内-2 内-2 内-1	末剤 顆粒剤 錠剤		局方:末、錠
			サザピリン	114 内-1	錠剤		
		体温中枢調節作用/中枢性痛覚抑制作用	サリチル酸系	114 内-2	末剤		
			サリチル酸ナトリウム	114 内-2	末剤		局方
		起炎物質抑制作用		114 内-1	錠剤		
			エモルファゾン	114 内-2 内-1	顆粒剤 錠剤		
			塩酸チアラミド	114 内-2 内-1	細粒剤 錠剤		

					ブコローム	114	内-1	カプセル剤		
					塩酸サリジン	114	内-1	カプセル剤		
	鎮痛作用/抗炎症作用 (解熱作用)	プロスタグランジン生合成 阻害作用		配合剤	アスピリン/アスコルピン酸	114	内-1	錠		
		プロスタグランジン生合成 阻害作用+胃粘膜保護作 用		配合剤	アスピリン/ダイアルミネート	114	内-1	錠		
熱性疾患、疼痛 性疾患	解熱作用/鎮痛作用	体温中枢調節作用/中枢 性痛覚抑制作用		アニリン系	アセトアミノフェン	114	内-2 内-2 内-1	散剤 細粒剤 錠剤		局方・散
				ピラゾロン系	イソプロピルアンチピリン	114	内-2	散剤		局方★調剤用
				サリチル酸系	エテンザミド	114	内-2	散剤		局方★調剤用
熱性疾患	解熱作用	体温中枢調節作用		ピラゾロン系	スルピリン	114	内-2	散剤		局方
疼痛性疾患	鎮痛作用	中枢鎮痛機構活性化作用			ワクシニアウイルス接種家兎 炎症皮膚抽出液	114	内-1	錠剤		
		中枢性痛覚抑制作用+中 枢興奮作用		配合剤	アンチピリン/カフェイン/ク エン酸	114	内-2	末剤		局方
		視床下部抑制作用+中枢 興奮作用		配合剤	シメトリド/無水カフェイン	114	内-2	顆粒剤		
2	解熱鎮痛消炎 剤	疼痛性疾患	鎮痛作用	プロピオン酸系	ケトプロフェン	114	注-1	注射薬		
					フルルビプロフェンアキセチ	114	注-1	注射薬		
		体温中枢調節作用/中枢 性痛覚抑制作用		サリチル酸系	サリチル酸ナトリウム	114	注-1	注射薬		
		中枢鎮痛機構活性化作用			ワクシニアウイルス接種家兎 炎症皮膚抽出液	114 442	注-1	注射薬		★皮膚疾患に伴う そう痒、アレルギー 性鼻炎
		プロスタグランジン生合成 阻害作用+鎮痛効果増強		配合剤	d-カンフル/サリチル酸ナト リウム	114	注-1	注射薬		
				配合剤	サリチル酸ナトリウム/コン ドロイチン硫酸ナトリウム	114	注-1	注射薬		
		プロスタグランジン生合成 阻害作用+局所麻酔作用 +鎮静作用		配合剤	サリチル酸ナトリウム/スル ピリン/カフェイン/アロバ ルピタール/塩酸プロカイン	114	注-1	注射薬		
		プロスタグランジン生合成 阻害作用+局所麻酔作用		配合剤	サリチル酸ナトリウム/ジブ カイン	114	注-1	注射薬		
	熱性疾患	解熱作用	体温中枢調節作用	ピラゾロン系	スルピリン	114	注-1	注射薬		局方
			体温中枢調節作用+解熱 効果増強作用	配合剤	スルピリン/アミノプロピオン /テオウル酸ジフェニルピラ	114	注-1	注射薬		

3	解熱鎮痛消炎剤	熱性疾患、疼痛性疾患、炎症性疾患	解熱作用／鎮痛作用／抗炎症作用	プロスタグランジン生合成阻害作用		アリール酢酸系	ジクロフェナクナトリウム	114	外-6 外-7	坐剤 注腸剤					
						プロピオン酸系	ケトプロフェン	114	外-6	坐剤					
							イブプロフェン	114	外-6	坐剤					
								アリール酢酸系	インドメタシン	114	外-6	坐剤		局方	
								オキシカム系	ピロキシカム	114	外-6	坐剤			
								サリチル酸系	アスピリン	114	外-6	坐剤			
		熱性疾患、疼痛性疾患	解熱作用／鎮痛作用	体温中枢調節作用＋中枢性痛覚抑制作用		アニリン系	アセトアミノフェン	114	外-6	坐剤					
	熱性疾患	解熱作用	体温中枢調節作用		ピラゾロン系	スルピリン	114	外-6	坐剤						

弱オピオイド類

内注外区分	分類名	主な適応症	薬理作用1	薬理作用2	薬理作用3	組成・構造	成分	薬効分類番号	剤形区分	剤形	用法	備考	線引き
1	弱オピオイド類	癌性疼痛	鎮痛作用	中枢神経刺激伝導抑制作用		ベンズアゾシン系	塩酸ペンタゾシン	114	内-1	錠剤		★ナロキソン含有	
2	弱オピオイド類	癌性疼痛、術後疼痛	鎮痛作用	中枢神経刺激伝導抑制作用		ベンザゾニン系	臭化水素酸エプタゾシン	114	注-1	注射薬			
						モルヒナン系	酒石酸ブトルファノール	114	注-1	注射薬			
							塩酸ブプレノルフィン	114	注-1	注射薬			
						ベンズアゾシン系	ペンタゾシン	114	注-1	注射薬			
						フェノールエーテル系	塩酸トラマドール	114	注-1	注射薬			
3	弱オピオイド類	癌性疼痛、術後疼痛	鎮痛作用	中枢神経刺激伝導抑制作用			塩酸ブプレノルフィン	114	外-6	坐剤			

片頭痛用剤

内注外区分	分類名	主な適応症	薬理作用1	薬理作用2	組成・構造	成分	薬効分類	剤形区分	剤形	用法	備考	線引き		
1	片頭痛用剤	片頭痛	血管収縮作用			メシル酸ジメチアジン	114	内-1	錠剤					
						メシル酸ジヒドロエルゴタミン	216	内-1	錠剤		★起立性低血圧			
						セロニン5-HT1受容体刺激作用	トリプタン系	コハク酸スマトリプタン	216	内-1	錠剤			
								臭化水素酸エレトリプタン	216	内-1	錠剤			
								ゾルミトリプタン	216	内-1	錠剤			
								安息香酸リザトリプタン	216	内-1	錠剤			
			中枢神経興奮作用					カフェイン	211	内-2	末剤		局方	
								安息香酸ナトリウムカフェイン	211	内-2	末剤		局方	
			血管収縮抑制作用			カルシウム拮抗作用		ピペラジン系	塩酸ロメリジン	219	内-1	錠剤		
			血管収縮作用＋中枢神経興奮作用＋鎮痛					配合剤	酒石酸エルゴタミン／無水カフェイン／イソプロピルアンチピリン	114	内-1	錠剤		
血管収縮作用＋中枢神経興奮作用					配合剤	酒石酸エルゴタミン／無水カフェイン	114	内-1	錠剤					
2	片頭痛用剤	片頭痛	脳血管収縮作用	セロニン5-HT1受容体刺激作用	トリプタン系	コハク酸スマトリプタン	216	注-1	注射薬					
3	片頭痛用剤	片頭痛	血管収縮作用	セロニン5-HT1受容体刺激作用	トリプタン系	スマトリプタン	216	外-2	噴霧剤 (鼻腔内)					